



女と山羊 一九四二年（昭和十七）

収蔵作品展示第20期

2019. 3 .29(金) — 2019. 9.29(日) 第20期 I
2019.11.22(金) — 2020. 3.22(日) 第20期 II

※I・IIで展示内容が異なります ※会期は臨時に変更する場合があります

- ◆開館時間：午前9時30分から午後5時（最終入館は午後4時30分まで）
- ◆休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12/29～1/3）
- ◆入館料：一般410(300)円 / 高校生以下200(150)円
※（ ）内は20名以上の団体料金
※入館料等は予告なく変更する場合があります
- ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方は無料（手帳をご提示ください）

◆開館10周年◆
大山忠作美術館
〒964-0917 福島県二本松市本町2-3-1
（二本松市市民交流センター3F）
TEL 0243-24-1217 FAX 0243-24-1218
<http://www.nihonmatsu-ed.jp/oyama/>

おお やま ちゅう しく
大山忠作
 [1922-2009]

「何時間、何日でも描きたいものと向き合う。
 よく飽きないものだ自分でも感心する。
 それは、惹かれた心を検証するプロセスでもあるのだろう。
 そして、出来上がった作品にはその時々わたしの心の
 ありようが鮮やかに映っている。」

『住友林業 1996CALENDAR』より



二本松生まれ
 東京美術学校（現・東京芸術大学）日本画科繰上卒業
 台湾から復員後、第2回日展に《O先生》を出品し初入選、以来連続入選

1968年 第11回新日展《岡潔先生像》で文部大臣賞受賞
 1973年 改組第4回日展出品作《五百羅漢》で第29回日本芸術院賞受賞
 1980年 成田山新勝寺光輪閣襖絵第1期「日月春秋」28面完成
 1986年 日本芸術院会員就任、1987年二本松市名誉市民に推戴
 1992年 成田山新勝寺聖徳太子堂壁画「白鷺・連・桜・牡丹・菊・楓」6面完成
 2005年 日展会長就任
 2006年 文化勲章受章

大山忠作美術館は、二本松市出身で現代日本画壇の重鎮として活躍された大山忠作画伯から、平成19年に二本松市へ寄贈された169点にも及ぶ作品を中心に収蔵・展示するとともに、画伯の画業65年にわたる業績を永く顕彰する目的で、2009年10月1日に開館しました。みなさまに愛していただき、2019年10月に開館10周年を迎えます。収蔵作品展示第20期では、会期をI・IIに分け、開催します。たゆまぬ探求、追求の軌跡、幽玄・華麗なる大山芸術の世界をご鑑賞いただければ幸いです。



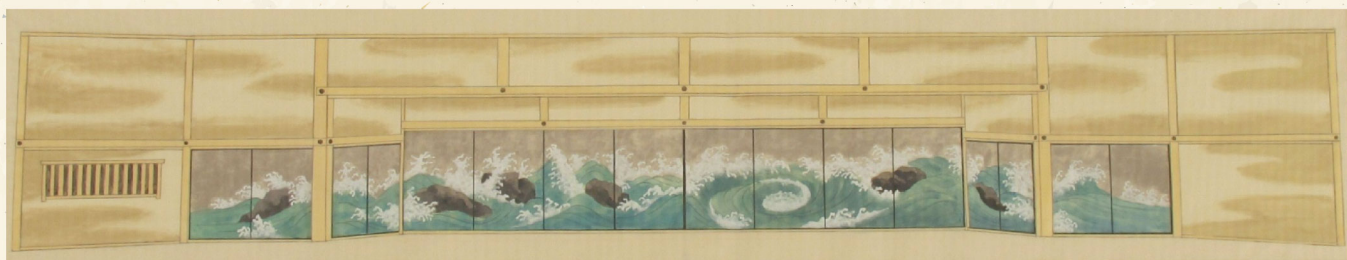
第20期I 2019.3.29(金) - 9.29(日)

第一展示室

“父” 大山忠作の描く家族。
 昭和20年代から晩年の作品まで日展出品作品とともに。
 薫る、忠作の花暦 —春の風、夏の匂い、秋の移ろい—
 <<花霞>>智恵子記念館所蔵 特別展示

第二展示室

十三代目市川團十郎白猿襲名披露記念
 十一代目市川海老蔵襲名披露公演口上
 舞台装飾画《牡丹》《荒磯》(小下図)展示



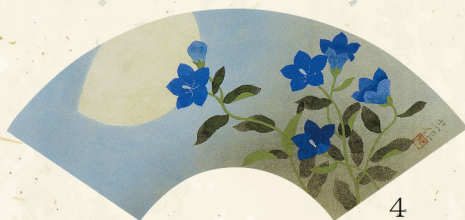
第20期II 2019.11.22(金) - 2020.3.22(日)

第一展示室

「描きたいものをごく自然に描き続けて来た。」
 研鑽を重ね、惚れこんだモチーフとともに。

第二展示室

傘寿記念扇面作品展示
 —言の葉にのせて—



【第20期I】

1. 花霞
1992年(平成4)
智恵子記念館所蔵
2. 荒磯
2004年(平成16)

【第20期II】

3. 紅楓游鯉
2005年(平成17)
4. 桔梗
2002年(平成14)頃 寄託

※ I・IIで展示内容が異なります。

◆ 開館10周年 ◆
大山忠作美術館
 〒964-0917 福島県二本松市本町2-3-1
 (二本松市市民交流センター3F)
 TEL 0243-24-1217 FAX 0243-24-1218
<http://www.nihonmatsu-ed.jp/oyama/>

大山忠作美術館

検索



交通案内

- ◇ JR東北本線：
二本松駅下車…徒歩3分
- ◇ 福島交通バス：
二本松駅前下車…徒歩3分
- ◇ 東北自動車道：
二本松ICより5分

駐車場

二本松市市民交流センター
 北側の立体駐車場をご利用
 いただけます。(施設開館時間
 内に入場の場合1時間無料。
 以降1時間100円)

大山忠作美術館
 開館10周年特別企画展

「新五星山展」

2019.10.13(日)

2019.11.17(日) 予定